

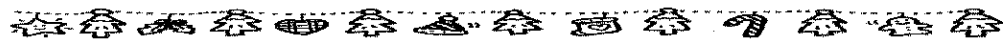


平成29年11月30日 社会福祉法人雅福社会 みやびの杜保育園

子どもたちの口から、「サンタさん」という言葉がチラホラ聞かれ始め、「ああ、もうすぐクリスマスだなあ」と私たちまでワクワクしています。サンタさんの話をしている時の子どもたちのキラキラの笑顔、楽しみで待ちきれないような表情、本当に可愛いです。この子達の夢や願いは、きっとサンタさんに届いていますね！！

先月は、保護者会と園とで共催で行った初めての行事「親子レク」の人形劇に、沢山の参加を頂いてありがとうございました。山内さんの手作りの人形の温かさと、そこから生まれる引き付けられる話の展開に、1時間という時間でしたが集中して楽しんでもらえたようです。山内さんからも「年齢が低いのに、とてもよく聞いてくれていた」とお褒めの言葉をいただきました。絵本や紙芝居に触れることは日常ですが、今回は人形劇というまた新しいイメージの世界に触れた子どもたち。これからも今回のような親子で一緒に楽しんでもらえることを続けていきたいと思えます。楽しみにお待ちください。

みやびの杜保育園も、今年も無事に年の瀬を迎えられそうです。保護者の皆様に支えていただきながら、元気に新年を迎えたいと思えます。



★25日にクリスマス会を行います。年間行事計画では22日になっていますが、変更になりますのでよろしくお願いいたします。お弁当の日になっていますのでらっこ、ペンぎん、いるか組は各自のお弁当を持たせてください。まんた・くじら組はバイキング形式でのクリスマスパーティーを楽しみたいと思えますので、お子さんの好きなもの(ごはん系、サンドイッチ、おかず系、デザート類なんでもいいです!)を1~2名分を使い捨ての容器に入れて持たせてください。どんなお料理が並ぶかな?楽しみにしています(^^) /

★サンタさんからのプレゼントを入れますので、クリスマスブーツを持たせてください。

★17日(土)は、園内大掃除を行います。日ごろなかなかお掃除できないところまでピカピカにして新年を迎えたいと思えますので、ぜひ皆様の力を貸してください。9時30分~行います。また今回は掃除後、保護者会を行いますのでたくさんのご参加をお願い致します。

★12月29日~1月3日は、休園となり1月4日より通常開園いたします。

◆みやびの杜保育園 雅福社会 法人理念◆

- 1、生命の尊厳と人間愛を基本に子どもに奉仕
- 2、子どもの最善の利益と質の高い保育の提供
- 3、地域との連携を図る法人運営

ホームページ

<http://miyabinomori.jp/>

TEL098-941-5580 FAX:098-917-5198

★いつも、第3土曜日の午後を職員研修や教材準備、書類の作成などの時間にあてさせて頂いてありがとうございます。お仕事等保育の必要な時には通常通りお預かりさせていただきますので、その際にはお声掛けください。

★より良い保育の為に、園に対するご意見、ご要望がありましたらどうぞお寄せください。

なお、11月は園に対するご意見はありませんでした。

#### ◆職員研修◆

2日「保育者のためのフォローアップ研修」・・・我那覇

12日「給食担当職員研修」・・・座安

21日「健康教育セミナー」・・・比嘉



#### ◆職員研修報告◆「絵本研修会～絵本の読み聞かせがもたらすもの」・・・大藤

今回、絵本の読み聞かせについての研修に参加させていただきました。昨年度から図書係を担当しているということもあり、なぜ「絵本」が子どもにとって重要なものなのかを学びたく研修を受けさせていただきました。この研修を通して、改めて絵本の大切さを実感し、保護者や職員にどのようにして知らせていくか考えるきっかけを作ることが出来ました。

絵本の読み聞かせを通して「①言葉の獲得」「②イメージ力・想像力の獲得」「③心の育ち」「親子の絆」の4つを得ることが出来る。

#### ①言葉の獲得

→読み聞かせを通して言葉を聞き、それを繰り返していくなかで「話す」ことへとつながっていく。その過程の中では、繰り返し「読む」「聞かせる」ことが大切であり、たくさん言葉をかけてあげることで言葉の習得を行っていく。また「7歳までの語彙数でその人の一生の言葉の数が決まる」と言われるほど7歳までの言葉の習得は重要となっており、語彙数が多ければ多いほど、思考力・自己学習能力が高いことがわかっている。

## ②イメージ力・想像力

→子どもが将来の夢を抱く際に大きくかかわってくる。なりたい自分を想像するからこそ、その目標に向かって明確に努力することができる。また、人と関わっていくなかで相手の気持ちを考えるためにも想像力が求められる。

また、よくできた絵本は子どもの想像に余地を与えているものであり、一人ひとりそのページの背景が異なったり、イメージが全く同じようなものにならないようになっている。

## ③心の育ち

→子どもは信じる力をもっており、絵本など作り話に入り込める能力を持っている。人は、経験を通して成長するように、絵本を通して間接体験を行っていくことで、心を動かし成長へとつなげていくことが出来る。

※②と③は密接にかかわっていて、成長にはこの二つは欠かせないものである。

## ④親子の絆

→特に乳幼児は、保護者とのスキンシップが大切だとされている。その中で小さいころに親に読み聞かせをしてもらった記憶はわすれることなく、幸せな思い出として残っていることが多い。また、大切にされているという気持ちから、成長には欠かせない「自己肯定感」が高い子どもに育つ。

そして、絵本を「読む」ということに関して「読んでもらう」と「自分で読む」とは、意味が全く異なる。自分で読み始めるということは、文字がわかり興味を示す小学校の国語の入り口として考えられる。そのため、子どもが必要とするまで大人が読み聞かせをすることが、子どもの育ちへとつながっていく。

今回絵本の研修に参加させていただき、読み聞かせが子どもにどのような育ちを与えるのかを学ぶことが出来ました。昨年度から図書係となり、保護者に絵本を勧めています。まずは保育士が本質を理解し、その良さを伝えていくことが基本となるのではないかと改めて思うことが出来ました。また、「よい絵本と言われるのは、子どもに想像の余地を与えている」という言葉に感銘を受け、子どもに想像の世界を広げていくことに初めて思考を向けることが出来ました。ただ絵本を読んでいくのではなく、この絵本を読むことで子どもたちにどのような影響を与え、育ちにつなげていけるのかを考えていくことも読み聞かせを行う上で大切な

ことだと学ぶことが出来ました。

今回学んだことを保護者にどのようにして伝えていくかを考えるとともに、読み聞かせへの意識を改め、子どもの育ちを考えながら絵本を選んでいきたいと思います。